● FCP平成29年度の取組に関する説明会

日時　　第１回　平成 29 年 4 月 20 日（木）11:00～12:30

　　第２回　平成 29 年 4 月 20 日（木）16:00～17:30

　　会場　　中央合同庁舎第 4 号館部屋番号 14（1219～1221）
　　農林水産省会議室２

　　参加者　90 社・団体／110 名（登録者数 2 回合計）

議事次第

1.　開会挨拶

2.　平成 29 年度の研究会・勉強会のテーマと進め方について

①全体運営
②FCP“つくる／みがく”活動（研究会・勉強会活動）
（1）食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
（2）標準・制度に関する勉強会（JAS 制度の見直しについて）
（3）若手フォーラム～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
③FCP“つながる／ひろげる”活動（交流・活動拡大、普及戦略・普及活動全般）
（1）FCP 基礎講座「食の安全・信頼向上のためのセミナー」
（2）地域ブランチ
（3）子ども霞ヶ関見学デー
④　その他「FCPホームページの見直し検討について」
⑤　勉強会、フォーラム活動参加申込方法等について

3.　質疑応答

4.　閉会挨拶

説明会概要

1. FCP 活動について

FCP の基本的な考え方や基本理念、行動指針について御説明し、FCP 活動の本質について再確認を行いました。
（詳細につきましては、資料 1 を御参照下さい。）

2. 平成 29 年度の研究会・勉強会のテーマと進め方について

（1） 平成 29 年度の研究会・勉強会について

平成 29 年度の研究会・勉強会について、各研究会・勉強会の趣旨、テーマ、進め方等を御説明しました。

平成 29 年度の研究会・勉強会は以下のとおりです。
（活動内容及びスケジュール等の詳細につきましては、資料 2 を御参照下さい。）

① FCP“つくる/みがく”活動（研究会・勉強会活動全般）

・ 食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会

・ 標準・制度に関する勉強会 （JAS 制度の見直しについて）

・ FCP 若手フォーラム ～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～

② FCP “つながる/ひろげる”活動（交流・活動拡大、普及戦略・普及活動全般）

（2） 参加申し込みについて

平成 29 年度研究会・勉強会の参加規約、参加申し込み方法及び参加申込書の提出期限等の概要について御説明しました。
（詳細につきましては、資料 3、4 を御参照下さい。）

配布資料

フード・コミュニケーション・プロジェクト（ＦＣＰ）
平成29年度　ＦＣＰ活動説明会

日　時：平成29年４月20日（木）午前 11:00-12:30 午後 16:00-17:30
（内容は各回とも同じ）
場　所：中央合同庁舎４号館　部屋番号⑭（1219-1221）農林水産省 会議室２

議事次第

１　開会挨拶

２　平成29年度の研究会・勉強会等のテーマと進め方について
　①　全体運営
　②　ＦＣＰ“つくる／みがく”活動（研究会・勉強会活動）
　　（１）食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
　　（２）標準・制度に関する勉強会
　　（３）若手フォーラム～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
　③　ＦＣＰ“つながる／ひろげる”活動（交流・活動拡大、普及戦略・普及活動全般）
　　（１）ＦＣＰ基礎講座「食の安全・信頼向上のためのセミナー」
　　（２）地域ブランチ
　　（３）子ども霞ヶ関見学デー
　④　その他「ＦＣＰホームページの見直し検討について」
　⑤　勉強会、フォーラム活動参加申込方法等について

３　質疑応答

４　閉会挨拶

配布資料

（資料１）　フード・コミュニケーション・プロジェクト（ＦＣＰ）活動について
（資料２）　平成29年度ＦＣＰ活動の進め方について
（資料３）　ＦＣＰ研究会・勉強会　参加規約及び参加登録申込書
（資料４）　ＦＣＰ若手フォーラム～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
　　募集要項／参加申込書
（資料５）　平成29年度ＦＣＰ活動説明会に関する意見について
（参考資料）　・平成28年度ＦＣＰ若手フォーラム活動報告
　　・平成29年度ＦＣＰ若手フォーラム活動計画詳細

資料1

平成29年度ＦＣＰ活動説明会

フード・コミュニケーション・プロジェクト（ＦＣＰ）活動について

平成29年４月20日(木)

農林水産省
食料産業局　食品製造課　食品企業行動室
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

フード・コミュニケーション・プロジェクト（ＦＣＰ）とは？

FOOD COMMUNICATION PROJECT

Food Communication Project (FCP)

フ　ー　ド　・　コ　ミ　ュ　ニ　ケ　ー　シ　ョ　ン　・　プ　ロ　ジ　ェ　ク　ト

食品事業者の意欲的な取組の活性化を通じて、消費者の「食」に対する「信頼」を向上させるために、農林水産省が提供するプラットフォームの下に食品事業者や関連事業者が主体的に「協働」で活動するプロジェクト
（平成20年６月立ち上げ）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰの基本的な考え方

http://www.food-communication-project.jp/intro/index.htmlより

食品事業者の皆さんと作り上げるプロジェクト

食品事業者に対する、消費者の信頼向上を図る

　食品事業者が、自らの顧客ニーズを見極め、創意工夫を発揮してビジネスを展開することを通じて、「食」に対する消費者の信頼向上を目指します。そして食に携わる関係者がそれぞれの活動を展開することにより、意欲的な食品事業者へメリットが還元され、その取組が持続的に充実・強化される姿を理想とします。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ基本理念

「食」への信頼、見える化計画

FCPは、食品事業者、関連事業者、行政、消費者等の連携により消費者の「食」に対する信頼の向上に取り組むプロジェクトです。

「食」の供給に携わる食品事業者は、その社会的な使命として、消費者の「食」に対する信頼の向上に取り組む必要があります。また、食品事業者を支える関連事業者等も、食品事業者の活動を通して、消費者の「食」に対する信頼向上に関わることが大切です。

食品が食卓に届くまでのフード・チェーンは長く、複雑で、一食品事業者や一関連事業者等の個別の努力のみでは、消費者の「食」に対する信頼を高めていくことは困難です。さらに、信頼を高めるためには、事業者と消費者の相互理解と、消費者からのアプローチも必要となります。

このため、FCPは、立場の異なる食品事業者や関連事業者、そして消費者を結び付ける共通言語である「協働の着眼点」を活用しつつ、事業者と事業者、事業者と消費者の対話をベースとした協働の取組みを進めることで、フード・チェーン全体において食品事業者の取組みの「見える化」を進めていきます。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ行動指針

FCPに参加する者は、FCPの基本理念に則り、以下の行動指針を遵守するものとします

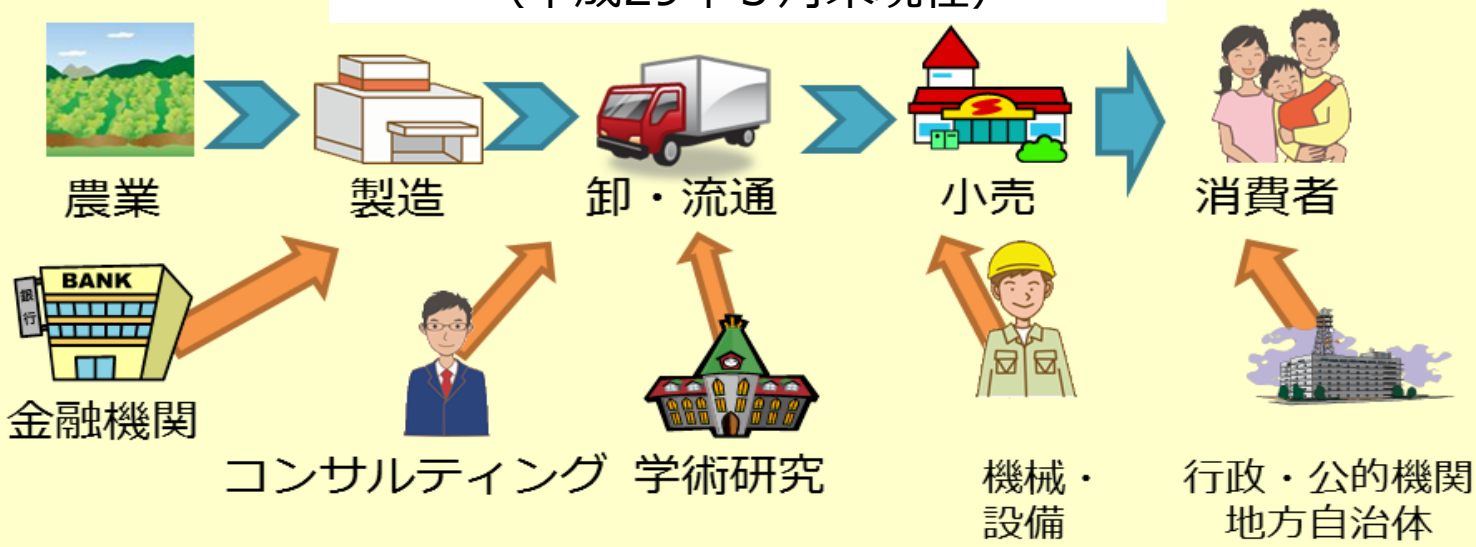
1.消費者の食に対する関心や期待に向き合い、「食」に対する信頼の向上に主体的に取り組みます。
2.消費者の「食」に対する信頼の向上という共通の目的のために、業種・業態等の立場や利害の違いを超えた協働を進めます。
3.協働による相乗効果を発揮するために、公平性、透明性を重視するとともに、多様性を尊重し、お互いにとってより良い解(WIN-WINの関係)を探す姿勢を保ちます。
4.「協働の着眼点」を、社内、事業者間、さらに、消費者とのコミュニケーションのツールとして活用し、協働の取組みを進めるためのツールとしても積極的に活用します。
5.「協働の着眼点」の活用を拡大、発展させていくため、その活用に関する情報共有や意見交換に努めます。
6.法令を遵守することはもとより、「食」に対する信頼の向上に関わる事業者としての社会的責任を意識して行動します。
7.「食」に対する信頼の向上を終わりのない挑戦と捉え、「協働の着眼点」の改善に寄与するとともに、FCPの持続的発展に貢献します。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ情報共有ネットワーク

FCP情報共有ネットワーク

農林水産省：プラットフォームの提供
食品関連事業者：1,879社/団体が参画
（平成29年３月末現在）



【活動内容】

- 情報共有（コミュニケーションの促進）
- 工場監査項目等の共有化（見える化）
- 参加企業のレベルアップ（人材育成）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰこれまでの歩み

年度	勉強会・研究会・会議	参加企業/団体数	地域ブランチ開催県
20年度	企業行動の情報発信研究会 アセスメント研究会 地域活性化研究会	208	
21年度	企業行動の情報発信研究会 アセスメントの効率化研究会 地域活性化研究会	527	岩手県 三重県 愛媛県 和歌山県
22年度	FCP普及・戦略研究会 アセスメント研究会 「消費者との対話のあり方」研究会 工場監査項目・共有化研究会 商品情報の効率的なやりとり研究会 企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用に関する研究会	939	大分県
23年度	FCP普及・戦略研究会 アセスメント研究会 「消費者との対話のあり方」研究会 工場監査項目の標準化・共有化研究会 商品情報の効率的なやりとり研究会 企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用に関する研究会	1,244	栃木県 島根県 滋賀県 山梨県
24年度	FCP普及・戦略研究会 「食の信頼」標準化研究会 FCP企業力アップ研究会 消費者対話の活性化勉強会 品質監査に関する研究会 商品情報の効率的なやりとり研究会 「FCP展示会・商談会シート」の普及に向けた勉強会	1,452	埼玉県 岡山県 群馬県 福井県

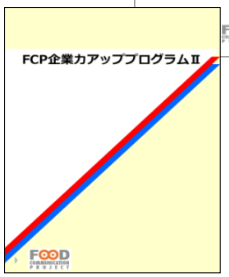
年度	勉強会・研究会・会議	参加企業/団体数	地域ブランチ開催県
25年度	消費者普及システム研究会 品質監査に関する勉強会 輸出版FCP展示会・商談会シート研究会 農場と食品事業者をつなぐ研究会 つながる会議 第１回　食の信頼向上に女性の感性を活かす 第２回　信頼のおける食品企業とは～仕事と自分の暮らし～	1,632	
26年度	企業力アップ研究会 国際標準に関する勉強会 つながる会議 第１回　女性の視点を生かした食品の安全と消費者の信頼確保の取組、課題解決 第２回　地方中小事業者の食品安全向上、国際的に見た食品安全の評価について 第３回　未来の食品産業について考える	1,708	青森県
27年度	消費者対応勉強会 工場監査実証研究会 国際標準に関する勉強会 植物工場勉強会 つながる会議 第1回　身近なところから食の信頼ネットワークを広げるには？～「食品初耳学！　人に話したい食に関する業界の常識」～ 第2回　ＦＣＰって何をやっているの？～「ＦＣＰの基礎を学んでネットワークに参加しよう」～ 企業力を向上させるＦＣＰ展示会・商談会シート活用研究会	1,816	
28年度	ツールの活用を考える研究会 標準・制度に関する勉強会 若手フォーラム つながる会議 第１回　安全安心のその取組、消費者に伝わってますか？～「食品初耳学！第２弾　人に話したい食に関する業界の常識」～ 第２回　企業力アップセミナー～「食の安全の取組を振り返り、消費者の食の信頼向上につなげよう」～	1,879	徳島県

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

アウトプット

企業・商品の「見える化」のツール

20年度	協働の着眼点(第1版)
	ベーシック16
21年度	FCP共通工場監査項目（第1版）
	FCPダイアログ・システム（第1版）
	FCP展示会・商談会シート
22年度	展示会・商談会シート項目と着眼点との関連
	「FCP展示会・商談会シート」の利用に関するQ＆A
	FCP共通工場監査項目に関する要求水準及び監査手法　第1版
	FCPダイアログ・システム 作業シートフォーマット
23年度	FCP展示会・商談会シート　作成のてびき
	FCP展示会・商談会シート　作成のてびき　項目別補足シート
	用途別・目的別　工場監査シート　自動作成ページ
	FCP共通工場監査項目ファースト ステップ ガイド
	FCP共通工場監査項目チェックリスト第1版
	FCP商品情報の管理体制項目
24年度	FCP企業力アッププログラムI
	FCP共通工場監査項目 指摘事例集（事例で学ぶ工場監査）～監査担当者が注意を払う監査項目29項目と実際の監査シーンで見られる指摘事例集～
25年度	商談会シート(輸出日本語版、英語版、中国語版、韓国版)
	輸出版商談会補足シート
26年度	FCP企業力アッププログラムII
	FCP企業力アッププログラムII　支援者活用ガイド
	FCP企業力アッププログラムII　付属テキスト（①やってみようB16、②FCP工場監査項目チェックリスト第2版）
	FCP共通工場監査項目に関する要求水準及び監査手法第2版
	FCP共通工場監査項目監査手順書
27年度	FCP展示会・商談会シート（第3版）、FCP展示会・商談会シートのてびき（改訂版）



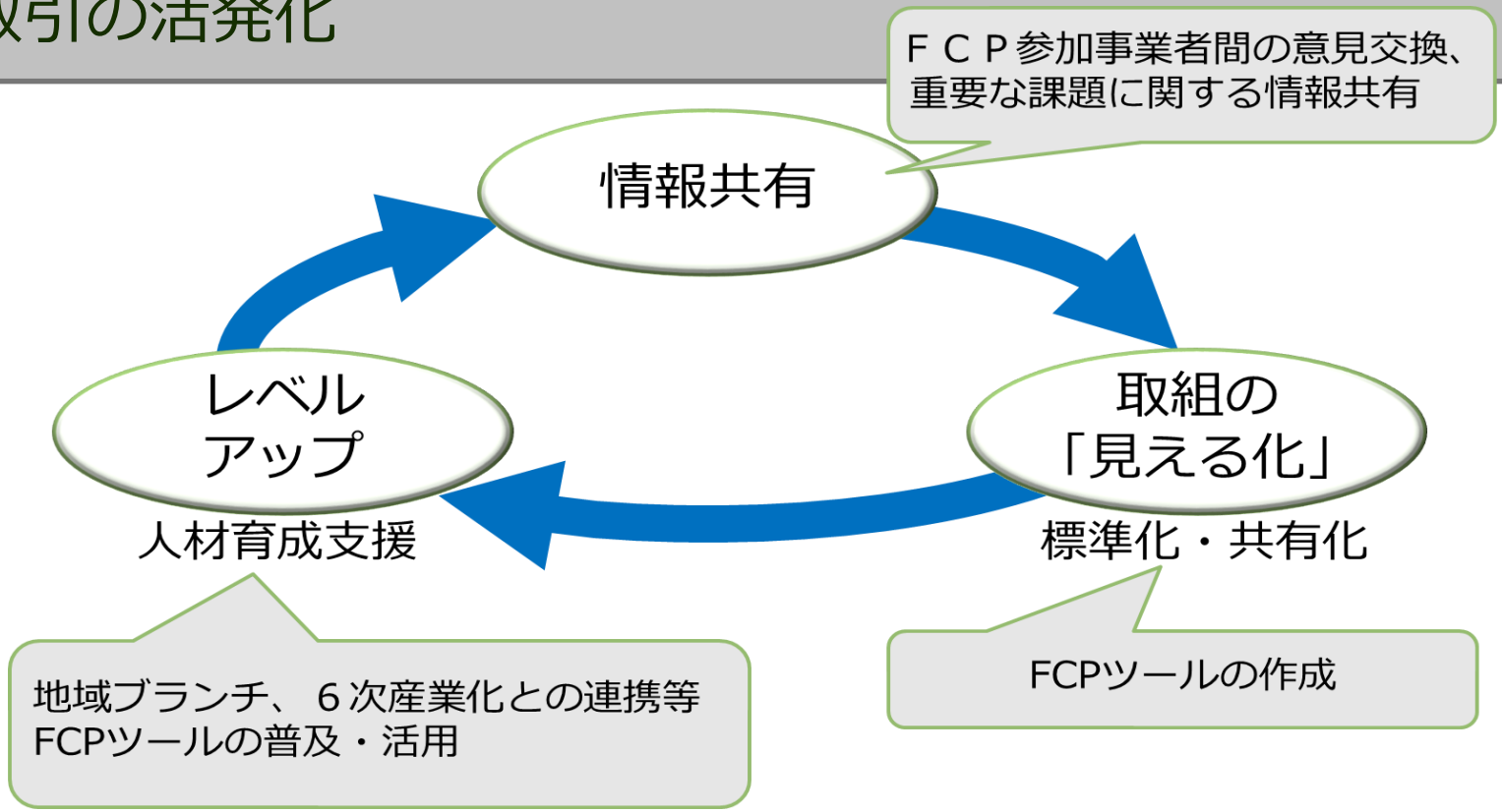
Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ活動のねらい

目　標

- ●消費者の信頼向上
- ●食品安全の向上・食品事故の減少
- ●企業コンプライアンスの向上
- ●取引の活発化

中小事業者を含めた
取組の強化



Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ活動の機能（図解）

情報共有

① フードチェーンを通じて意見交換

他企業との目線合わせ（標準を探る）ができる

取組の「見える化」

②標準化活動

文書等にする

ツールの作成

一部発展

ＪＦＳ規格・認証

取り組むべき事項が明らかに！

【個社】

レベルアップ

①他企業との目線合わせ（標準を探る)によるレベルアップ
②標準化活動を行うことによるレベルアップ
③自社内でのツールを用いた教育によるレベルアップ

自社の振り返り

自社内で「見える化」

③（教育）

【取引先、消費者】

取引先、消費者への伝達

取引先、消費者にも「見える化」

消費者の食の信頼向上

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ活動の今後の方向性

（「FCPツールの活用を考える研究会」まとめから抜粋）

様々な変化に対応すべく、食の安全・信頼に関する新たな知見を蓄積し、取組を推進していくことが必要

１.情報共有

様々な観点からの有識者等を招いた勉強会を開催し、時々の変化に対する企業活動の参考となり得る新たな知見を蓄積する取組を実施。このことにより、新たな気づきが得られるとともに、他業者との目線合わせや標準を探る。

2.標準化活動

FCPではこれまで協働の着眼点等のツールを作成し、これらのツールを活用することで、食品事業者の取組向上や事業者間や消費者へ取組の見える化が図られてきたところ。今後とも課題共有を通じて標準化活動及びツールの改善や作成等を行う。

3.レベルアップ

食の安全・信頼の取組は、社会情勢や消費者ニーズの変化に応じて、やり方も見直し、継続・継承していくことが重要。また、この取組が重要であるということの認識を広げ、取組を拡大していくことが重要。このため食品企業内での後継者を育成する取組、地域の食品事業者に広める取組を行う。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.